

代沢九条けいじぼん

第43号
2018年8月22日発行
代沢九条の会
(代沢2-37-5-101)

日本には、さまざまな人がいて、さまざまな考え方があ。それでも、根っこに九条をおく。

6月に閉会した通常国会では森友・加計問題にからんで行政省の虚偽答弁、公文書改ざんなど深刻な問題が露呈したにもかかわらず、すべてうやむやなまま。その挙句、問題の多い3法案が議論不十分のまま成立しました。それは、①「働き方改革」関連法案 ②IR法案(カジノ法案)③参議院定数を6増やす改正公職選挙法案です。

一方、安倍政治は、辺野古基地建設を断行、核兵器禁止条約には非加盟、原発は維持し、輸出もする、イージス・アショアなど高額な軍備の増強、そして、安倍首相は9月の自民党総裁選に勝利して、9条改憲原案を秋の国会に提出したいとの意向です。

私たち国民は、この国で行われている政治の内容をよく知り、よく考え、具体的に声を大きくしない限り、どんどん流されてしまうのではないのでしょうか？

まずは、『働き方』について、みなさんは、どう思いますか？

【沖縄通信-「追想、翁長雄志知事」】

2018年8月8日(水)、翁長雄志沖縄県知事が膵臓がんで亡くなりました。享年67歳。謹んでご冥福をお祈りいたします。

翁長雄志知事は、沖縄の平和と発展を心から願った“魂の政治家”、そして真の“言葉の政治家”でした。“ハイサイ、グスーヨー。チューウガナビラ”。県民大会等での知事のあいさつは、いつもこの言葉で始まりました。沖縄をこよなく愛し、県民に真に寄り添い、慕われてきました。“イデオロギーより、アイデンティティ”。「辺野古に新基地は造らせない」との公約の下、4年前の県知事選に圧勝し、首尾一貫して正々堂々と主張し、アベ政権と対峙してきました。“ウチナーンチュ、ウシェーティナイビランドー”。

今回の県知事選の結果次第で、辺野古新基地建設阻止の行方と沖縄の平和の構図が決まる、沖縄の未来をかけた県知事選になります。志半ばで病に倒れ、命を落とした無念を、悔しさを私たちが引き受け、翁長知事の遺志を引き継ぐ候補者を、圧倒的な勝利に導きます。“チバラナヤーサイ。ナマカラドゥウヤイビンドー”

(沖縄通信員:岩村利一・幸子)

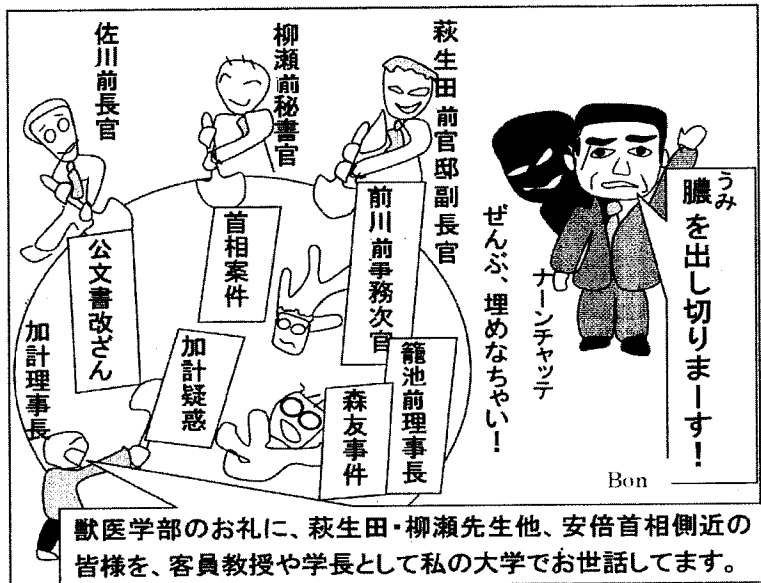
【働き方改革？ それとも… 働かせ方改革？】

- (1) 残業時間の上限規制
- (2) 高度プロフェッショナル制度
- (3) 同一労働同一賃金など、私たちの働き方に影響する法律です。

(1)では、残業時間は原則「月45時間、年360時間」。忙しい時もあるので年6ヶ月までは月45時間を超えられるが、年間上限は720時間。単月の上限は休日労働を含めて「100時間」、2~6ヶ月平均の上限は同「80時間」とした。罰則つきなので歓迎する声も上がっているが、そもそも月「100時間」「80時間」というのは労災の過労死認定ラインの水準なのだ！そして1年間の上限「720時間」は、休日労働を含めていないので実際には、最大で「年960時間」が可能になってしまう。

(2)は、高収入の専門職の働き手を労働時間に関する保護から外す制度。残業代や深夜・休日の割増賃金は無くなり、いつ、どのように働くかは本人の裁量次第だが、業務量を決めるのは上司だし、高プロ適用を拒否することも難しいのが現実。健康確保措置にも、4週間で4日休ませれば残り24日は1日24時間働かせても違法にならないなどの「抜け穴」がある。対象の年収、職種は国会審議なしで厚生労働省が省令で定められるし変更もできる。

これでは強制労働省と言われても仕方ないのでは？



獣医学部のお礼に、萩生田・柳瀬先生他、安倍首相側近の皆様を、客員教授や学長として私の大学でお世話しています。

ウミ、それは私です



戦中・戦後の思い出(2)～私の終戦～

中学3年の4月から軍需工場の旋盤工になった。担任の国語の老先生は昼休みになると、有名な古文の冒頭の一節を読ませ、家に変えたら勉強するようにといったが、家は焼け跡に建てた掘立小屋に祖母、母、姉、私の家族4人、しかも当時は停電が多く、その上教科書類もノートも何もなかった。

8月15日の昼休みにラジオで天皇の話聞いて、がっくりした。愚かなことに、非常に素直に大人の言うことを聞いていた中学生の私たちは、いよいよ私たちも直接戦場に赴け、と言われるとさえ思っていたのである。まったく案に相違して負けた報せであった。

世の中が少しずつ落ち着いてくると、戦争を鼓舞していた大人たちが『この戦争は間違っていた、だいたい、あんなに資源の豊かな国を相手に戦争するなんて実に愚かなことだった』と言いだした。単純な私たちは全く騙されていたのである。(吉澤翁)

空襲体験 その2

昭和20年3月、学徒動員先の高砂鉄工の江東区大島工場が10日の空襲*で全滅したので、焼け跡整理に私たち中学3年生の一部が行くことになった。

総武線は秋葉原から両国までしか運行していなかった。両国駅から歩いたが、まず強烈な臭気に驚いた。ただ焦げ臭いのと違う異様さ。あたり一面全くの焼け野原で焼死体があちらこちらに見られた。炭のように焦げたマネキン人形のようなだったが、運河に折り重なって浮いているかなりの屍は、肌が生々しかった。恐らく熱風に耐え切れずに飛び込んでの溺死や酸欠死と思われる。これは戦争の歴史始めて以来交戦国の国民が体験した最大の惨害の一つであり、焼死体を片付けるのに25日かかったという。(*東京大空襲) (土屋翁)

“人々”の記憶

73年前の悲惨な戦争の記憶

凄惨な原爆の記憶

それは“人々”の記憶

1946年、占領下で公布された日本国憲法は

“人々”の側に立つ憲法だった

“人々”は憲法を受け入れ 憲法から民主主義を学んだ

そして“人々”の記憶が 憲法を変えさせなかった

いま“人々”の記憶を持たない人たちが

改憲を目論んでいる

『今だけ 金だけ 自分だけ』の政治が“人々”を牛耳っている

今行われている政治は 私たちを大事にはしていない

憲法が定める国のかたちを良しとして

私たちが作っている国だから

”人々”が一番大事にされる そういう国にしていこう

ごまかしだらけの 信用できない人たちには退場してもらおう (KM)

もし森友学園国有地取得の違法がバレなかったら

今頃新しい小学校校庭では毎朝、生徒たちが皇居を遙拝し、「教育勅語」を元気一杯に暗唱し、同校の安倍昭恵名誉校長はそれを見るたびに感涙にむせんでいただろう。もし木村真豊中市議が同校の生徒募集ポスターを見なかったら、不正は隠されたまま、「瑞穂の国記念小学院」(安倍晋三記念小学校を改名)はめでたく開校していたのだ。

木村市議は極端に右翼的なポスターに興味を引かれ、用地の売却価格を調べた。すると、国有地なのに価格は非公開だった。執拗に調べた結果、9億円以上もの国有地が嘘のゴミ撤去費を理由に、僅か1億円余(実質は200万円)だったことが分かった。決して国民に公開できる価格ではなかったのだ。

財務省が「特例として」、国有地を極秘に只同然で売却した訳は、勿論昭恵名誉校長の存在である。ところが違法な値引きが国民にバレると、関係各省は安倍首相夫妻の関与を覆い隠すために、国会答弁で1年間も国民を欺き続け、決済文書を改ざんし、改ざんを強いられた一人の職員を自殺にまで追い込んだ。

昭恵夫人は心酔するという「教育勅語」の精神に則り、今こそ真実を述べて犠牲者を弔い、安倍首相は約束通り即辞任すべきだ。2018年4月21日記
=追記 加計学園問題=

森友学園の小学校は建設途上で不正が暴かれて中止させられたが、加計学園の岡山理科大学獣医学部は、内閣府の不当介入が解明する前に開校してしまった。安倍首相は加計理事長とは仕事の話は一切しないと強調するが、とんでもない嘘である。千葉科学大学は加計孝太郎が2004年に開校するまでに安倍の様々な支援を受け、同大学の開校宣伝文句は、「将来の総理(2年後に実現)がバックアップする学校です」であった。同年の開学式典にも2014年の10周年式典にも、安倍が出席して祝辞を述べている。昭恵夫人も下村元文科大臣の今日子夫人も同学園系列の学校の名誉職につき、加計孝太郎との外遊を繰り返して学園経営に深く協力している。その経緯は、森功著「悪たくみ」(第2回大宅壮一メモリアル日本ノンフィクション大賞受賞・文藝春秋2017年)に詳しい。2018年8月8日記 (大塚汎)

代沢九条の会 9月例会のお知らせ

平成30年9月23日(日) 10:00~12:00

代沢東地区会館(代沢1-31-8)

*フリーな意見交換の場です。初めての方、ちょこっと興味のかたも、ぜひ。

代沢九条の会事務局 03(3412)6097

(ファックスとも)

URL:<http://www.7b.biglobe.ne.jp/~daizawa9j/>